

工作活動の実態

▶ 回収品などから特定された工作船の国籍

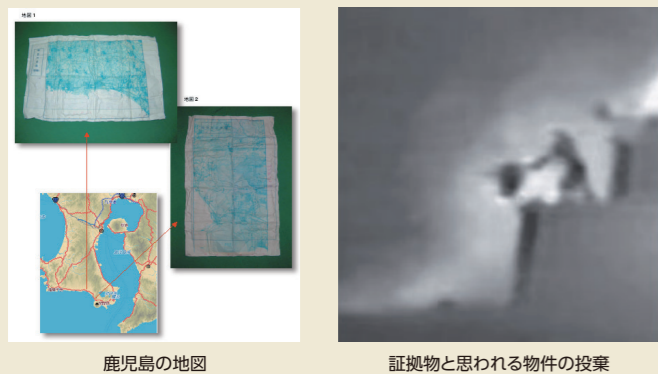


防寒ジャンパー
表記に、製造元が「朝鮮半島」ハンブルで表記
金日成バッジ
タグにはハンブル表記で「新星印」(仮訳)
ハンブル表記でリョカタンバ(フィルター付タバコの意味)等
毛布のタグに、北朝鮮国内の工場名等がハンブル及び英語で表記

乗組員の遺体の司法解剖により、7名分の人種は朝鮮人又は韓国人である可能性が極めて高いとの鑑定結果が出ています。また、北朝鮮の国民が着けていると言われる「金日成バッジ」、北朝鮮内の工場名がハンブル文字で表記された物品、日本から北朝鮮に輸出された物品、「党」に対する忠誠心を意味するハンブル文字の記載された船体の一部と思われる木片、北朝鮮を示す丸に星マーク及びハンブル文字表記のある武器、製造国が北朝鮮を示す番号の刻まれた実包、薬きょうなどを押収しました。

これらの事実に加えて、平成14年9月17日に行われた日朝首脳会談の場において、金正日国防委員長が軍部の一部が行ったと思われる旨の発言を行ったこと等から総合的に判断して、この犯罪供用船舶「長漁3705」については「北朝鮮国籍の工作船」であり、同船乗組員についても「北朝鮮国籍」であると特定しました。

▶ 推定される工作船の行動目的とは？



鹿児島島の地図
証拠物と思われる物件の投票



水中スクーター
日本製ゴムボート

徹底的な事件捜査の結果、①この工作船は、九州周辺海域で覚せい剤の取引に使用されていた疑いが濃厚であること、②作員の不法出入国等、他の重大犯罪にも利用されていた可能性があること、③国内に協力者が存在している可能性があること、が明らかになりました。なお、平成18年10月27日、東京地方検察庁により、当該工作船が「覚せい剤を密輸していた」と認定されました。

案内図



- 開館時間** 午前10時から午後5時まで(閉館30分前に受付終了)
- 休館日** 毎週月曜日(休日の場合は翌平日)
年末年始(12月29日から1月3日)
- 見学料** 無料

【場 所】 神奈川県横浜市中区新港1-2-1(赤レンガパーク隣)

- 【交通案内】** みなとみらい線
「馬車道駅」又は「日本大通り駅」徒歩8分
- JR・市営地下鉄
「桜木町駅」から自動車道経由徒歩17分
- ピアライン(バス 桜木町ハンマーヘッド間)
「横浜ハンマーヘッド」徒歩3分
- あかいくつ(バス)
「赤レンガ倉庫・マリン&ウォーク」徒歩3分

問い合わせ先

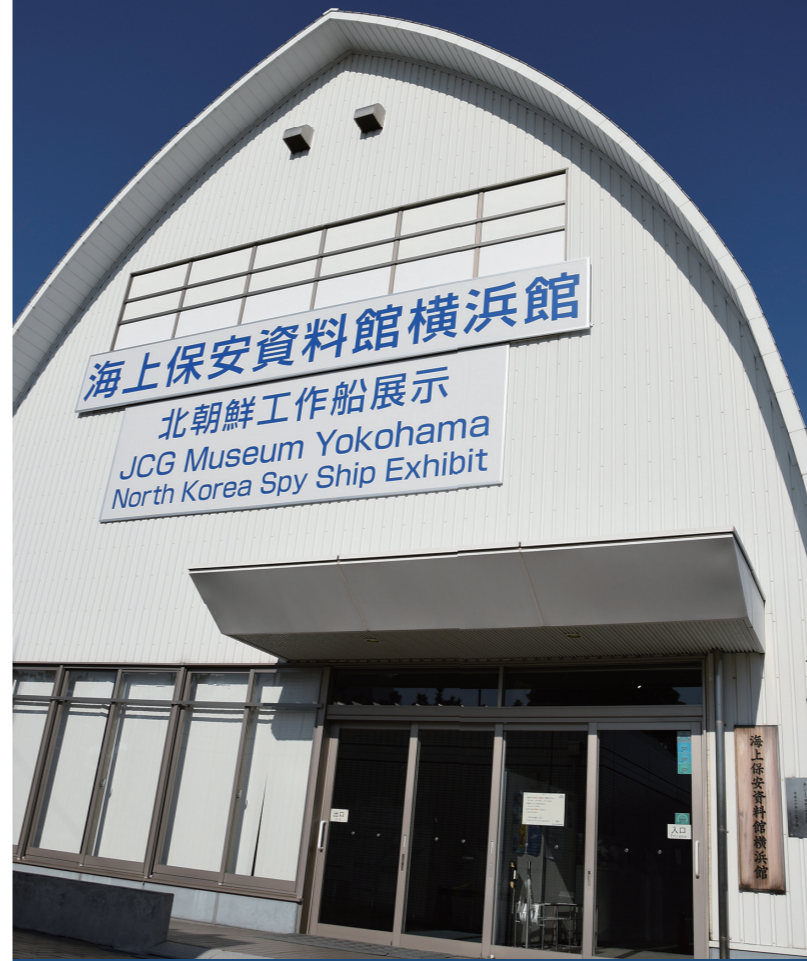
海上保安資料館横浜館
tel.045-662-1185

メモ欄



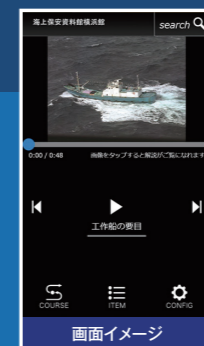
海の「事件・事故」は118番

海上保安資料館 横浜館



多言語音声ガイドサービス

- ご自身のスマートフォンで二次元コードを読みただけで利用開始
※二次元コードは館内各所に掲示しております
- 展示物を音声・文字・画像でご案内
- サービス利用専用FreeWi-Fi設置
- 対応言語: 日本語、英語、フランス語
中国語(簡体字・繁体字)、韓国語



海上保安官募集!!



- 海上保安大学校学生採用試験
- 海上保安学校学生採用試験
- 海上保安官(大卒者対象)採用試験
- 海上保安官(有資格者)採用試験



採用試験の詳細は二次元コード又はコチラで検索

回収した主な武器

ロケットランチャー

口径40mm、85mmロケット弾
RPG-7系用弾薬の発射機と推定、北朝鮮製と推定



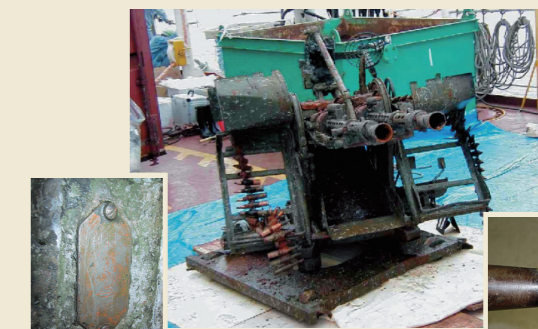
無反動砲

82mm無反動砲B-10と推定、ハンブル文字の刻印あり



二連装機銃

口径14.5mm、対空機関銃 ZPU-2と推定、ロシア製と推定



ハンマー、鎌に星の刻印銘板

ハンブル文字で「開」「閉」

自動小銃

口径5.45mm、AKS-74銃と推定、北朝鮮製と推定



軽機関銃

7.62mmPK機関銃と推定、北朝鮮製と推定



手りゅう弾



工作船の武器類を押収し、政府関係機関に鑑定嘱託した結果、いずれも殺傷能力のある武器等でした。特に、自動小銃、軽機関銃、二連装機銃、ロケットランチャー、無反動砲については、使用(発射)した痕跡が認められました。また、携行型地对空ミサイルや手りゅう弾なども回収しています。

九州南西海域における工作船事件の概要

平成13年12月22日、海上保安庁は九州南西海域における不審船情報を防衛庁から入手し、直ちに巡視船・航空機を急行させ同船を捕捉すべく追尾を開始しました。同船は巡視船・航空機による度重なる停船命令を無視し、ジグザグ航行をするなどして逃走を続けたため、射撃警告の後、20ミリ機関砲による上空・海面への威嚇射撃及び威嚇のための船体射撃を行いました。しかしながら、同船は引き続き逃走し、巡視船に対し自動小銃、ロケットランチャーによる攻撃を行ったため、巡視船による正当防衛射撃を実施し、その後同船は自爆用爆発物によるものと思われる爆発を起こして沈没しました。その際、巡視船「あまみ」乗船の海上保安官3名が、約7～10日間の入院・加療を要する傷害を負いました。海上保安庁では、事件発生後まもなく、第十管区海上保安本部（所在地：鹿児島県鹿児島市）及び鹿児島海上保安部に捜査本部を設置し、事件の全容解明に向けた捜査を開始しました。

平成13年12月22日、事件当日

0620

発見・追跡



工作船と追跡する巡視船いなさ

1312

停船命令・威嚇射撃

1613

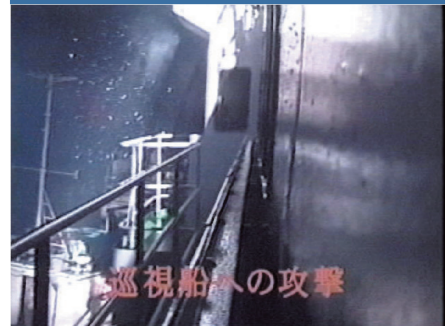
船体への威嚇射撃



船体への威嚇射撃を捉えた赤外線映像

2209

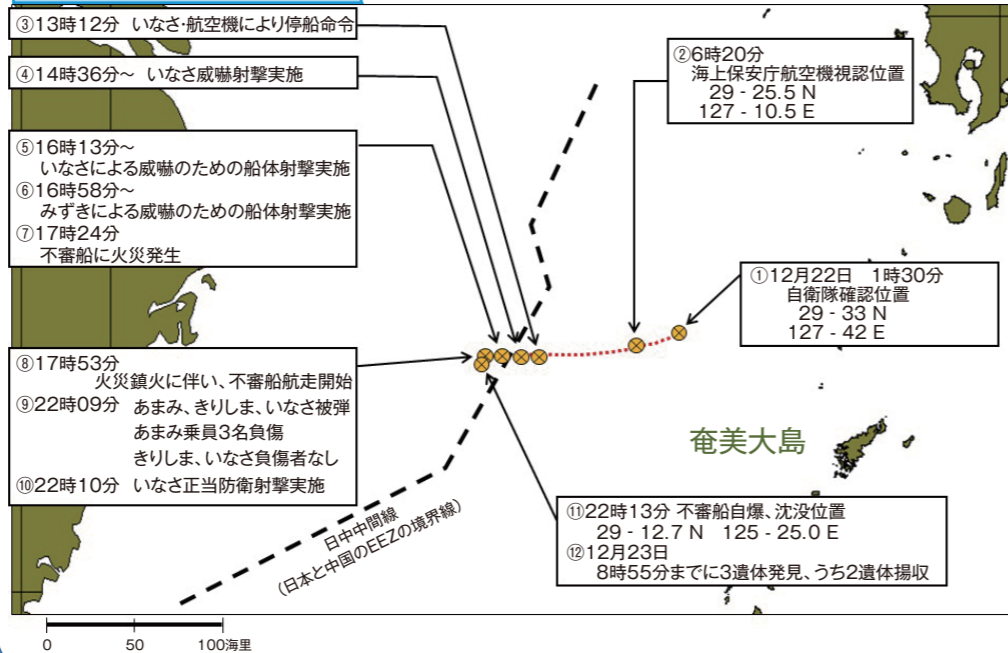
工作船からの攻撃、自沈



被弾する巡視船

平成13年 12月 22日	工作船事件発生、工作船沈没
平成14年 2月 25日～3月1日	無人潜水調査
5月 1日～8日	有人潜水調査
6月 21日	船体引揚げが政府決定、閣議で予備費の使用を決定
6月 25日	船体引揚げ作業着手
9月 11日	船体引揚げ
9月 17日	(日朝首脳会談において金正日国防委員長が不審船事案について北朝鮮の関与を認める発言)
10月 6日	船体陸揚げ(鹿児島)
平成15年 3月 14日	工作船乗組員10名を海上保安官に対する殺人未遂罪等の容疑で書類送検(不起訴処分確定済み。)
平成15年 5月 17日～18日	工作船船体、武器類等を鹿児島において一般公開
平成15年 5月 31日～	工作船船体、武器類等を東京お台場の船の科学館において一般公開
平成16年 2月 15日	
平成16年 12月 10日～	工作船船体、武器類等を横浜の海上保安資料館横浜館において一般公開

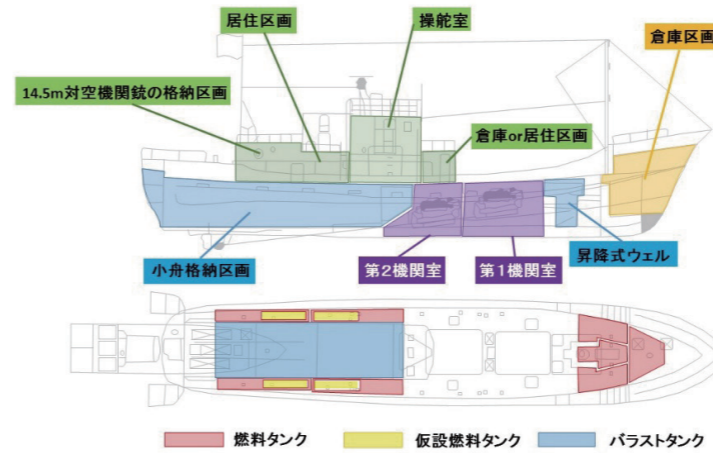
不審船航跡図



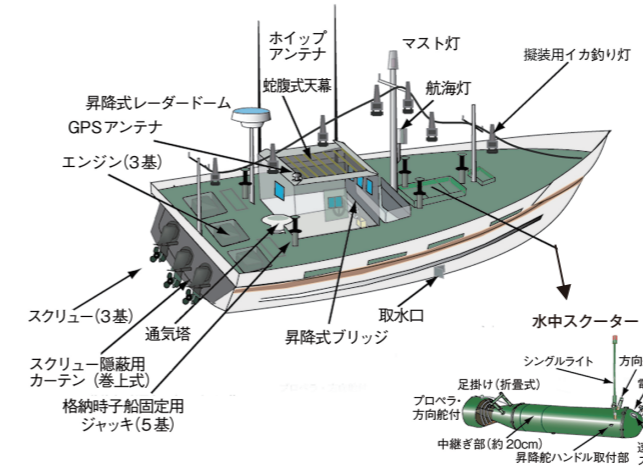
これが北朝鮮の工作船 !!



工作船の状況



小型舟艇の状況



工作船の要目

船名：長漁3705
 全長：29.68メートル
 型幅：4.66メートル
 総トン数：44トン
 出力：約4400馬力(約1100馬力×4)
 速度：約33ノット(約61km/h)



小型船の搭載状況 観音扉は、エアシリンダー開閉式



小型舟艇の要目

全長：11.21メートル
 総トン数：2.9トン
 主機関：スウェーデン製
 出力：約900馬力 ガソリン船内外機3基
 速度：約50ノット(約90km/h)